

2023年度(令和5年度) 事業報告書

2023年4月1日より2024年3月31日まで

第1 公益目的事業

定款第4条に掲げる事業は、次の計画により行った。

公1 がんに関する学術研究集会の定期開催、ならびに海外学術調査研究事業

① 国際がんシンポジウム事業(第41回)

第41回国際がんシンポジウムは2023年10月11日～14日の4日間、国内外か38名の研究者を招き、KKR ホテル東京にて開催した。テーマは「がんオルガノイド:領域展開 / Cancer Organoids: Domain Expansion」、代表世話人は慶應義塾大学医学部オルガノイド医学教授の佐藤俊朗氏で、200名強の参加者を得て盛会裏に終了した。

② 冬季がんセミナー事業(第38回)

2024年1月27日(土)、道内外から9名のがん研究者を招き、道内の演者・座長、特別講演演者には会場に来ていただき、聴講者はWEB形式のハイブリット形式で開催した。テーマは「いまがんを考える2024ー領域横断的な次世代のがん研究・がん診療ー」、代表世話人は札幌医科大学医学部遺伝医学教授 櫻井晃洋氏で、会場で25名、WEB で102名、計125名の参加者を得て盛会裏に終了した(大鵬薬品工業(株)との共催)。

③ 市民がつくる春のがんセミナー事業

2024年3月30日(土)、北海道医師会館8階会議室にて開催した。北海道大学大学院医学研究院と耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授の本間明宏氏、ホームケアクリニック札幌院長の藤原葉子氏のお2人にご講演をいただき、58名の参加者で盛会裏に終了した(北海道医師会との共催)。

公2 がん予防・啓発、ならびにがん相談事業

④ がん啓発・予防事業

札幌市教育委員会と連携して、インセンティブ・ファンドを札幌市内の小学校4校(あいの里東小、栄小、厚別北小、本町小)、中学校2校(藤野中、元町中)の計6校に支給し、活動を行ってもらった。

出前授業を行う外部講師への謝金支援事業は札幌市保健所と連携し、応募のあった小学校16校、中学校2校、高等支援学校1校の計19校へ支給した。講師の内訳は医師12名、看護師3名、薬剤師1名、がん経験者3名であった。

子どもへのがん教育事業で、DVD制作、配布後の今後の活動内容を確認するため会合を開催した。また、がん患者及び家族への無料相談を事務局にて行った。

⑤ 広報関連事業

広報誌 The Way Forward を年2回作成し、関係機関へ配布した。その他、ホームページの更新などを行い、財団活動を広く周知した。

公3 医学・医療・福祉など関係の学会研究の助成事業

⑥ 学会助成事業

本年度は申し込みがなかったため助成事業は行わなかった。